



輝け！北っ子！

学校を支えていただいている人へインタビュー ～図書ボランティア 渡辺孝一さん～

学校は、多くの方に支えられています。保護者の皆さんはもちろん、地域の方々、二本松市の教育全体を総括する教育委員会や市当局もあてはまるものと思います。北っ子見守り隊や消毒ボランティアをはじめとするボランティアのみなさんや交通指導員等、あげればきりがありません。ですが、今回はその中でも、継続してお世話になっている図書ボランティアの方をインタビュー形式で紹介したいと思います。

Q：お名前を教えてください。

A：渡辺孝一 といいます。

Q：お住まいはどちらですか。

A：現在は、二本松市作田になります。以前は郭内に住んでいました。

Q：北小の図書ボランティアを始めてどれくらいになりますか。

A：ちょうど1年ぐらいになると思います。

Q：ボランティアをはじめたきっかけを教えてください。

A：実は、二本松南小で図書ボランティアをしています。孫が南小に通っていて、「図書ボランティアの募集」の案内をもってきたのが始めるきっかけでした。南小でボランティアをしているときに北小にもきている司書の大槻先生に声を掛けていただいて、北小でも図書ボランティアをするようになりました。

Q：北小との関わりはあったのですか。

A：私は子どもが3人いますが、全員北小の卒業生になります。また、私自身もPTAとして広報委員の仕事もしました。

Q：ボランティアとして活動内容を教えてください。

A：まずは本の整理整頓です。きちんと分類別に並べて、読みたい本がすぐに選べるようにしています。その他にも、本の修理、カバー掛け、ラベルの張り替え、古い本の処分など、司書の大槻先生と相談しながら進めています。

Q：ボランティア活動の喜びは何ですか。

A：私自身、本が好きなので図書室にきちっと本が並んでいるととてもいい気分になります。さらに、その本を子ども達が選び、喜んで読書しているのを感じるととても嬉しくなります。

Q：北小の子ども達の印象をお聞かせください。また、子ども達へのメッセージもお願いします。

A：とても素直な子が多いなと感じています。また、お掃除が上手だなとも思っています。図書委員の皆さんは仕事がとても丁寧ですね。図書室にはたくさん本があります。ぜひ、多くの本に親しんでください。本は大事に扱うことで、長く、多くの人に読んでもらうことができます。大切に、そして丁寧に扱ってください。

Q：保護者の皆さんへお伝えしたいことを聞かせてください。

A：是非、子どもと一緒に本を読んでほしいと思います。本はたくさんを教えてください。し、本を通してつながりも深まると思います。

終始、穏やかにインタビューに答えてくださった渡辺さん。温かいお人柄が伝わってきました。ありがとうございました。



渡辺さんには司書の大槻先生の勤務にあわせて、今年度は「金曜日」の「9時30分頃～都合のつく時間」までお手伝いをいただいております。もし、保護者の皆さんの中で、「お手伝いしてもいいかな」と思われた方は、学校（0243-23-0029）までご連絡ください。